

● 学校経営の基本理念

「子どもが郷土を愛し、個性を伸ばしながら、自己肯定感を高める教育」を目指し、

- 1 子ども一人一人の個性・特性の伸長を図る活動の充実を第一義とします。
- 2 憲法及び教育基本法・学校教育法、人権同和教育の精神に則り、県・地区・市の教育施策等を踏まえた、規律と秩序のある学校経営を進めます。
- 3 小中併設校という本校の歴史や伝統と、郷土のよき教育風土を活かし、保護者や地域の要望に応えられるようにします。
- 4 Society5.0が目指す社会に適應できる学力や生き抜く力を身につけさせ、情報化・国際化に適應できる能力を高めるとともに社会の変化に生き抜くことができる力を身につけさせます。
- 5 子どもたちだけでなく、教師もゆとりがもてる発展的な業務改善を実施します。

■ めざす学校像

- 1 子ども一人一人がよさを発揮し、意欲的かつ創造的に活動する学校
- 2 思いやりのある豊かな心と人権意識の高い学校
- 3 小中併設校の特性を活かした9年間を通した教育活動と奄美に根ざした体験活動の充実をめざす学校
- 4 社会の大きな変化に適應できる「学びに向かう力・人間性」を育成し、情報化（ICTの活用）、国際化（英語学習の充実）の力を伸ばすとともに、主体的で対話的な学びを実現できる学校

学校教育目標

心も体もたくましく、創造性に富み、進んで学び続ける人間性豊かな児童生徒の育成

校訓

かしこく

やさしく

たくましく

一校一改善：確かめ・見届け・振り返りの充実

一事徹底：自ら進んで語先後礼のあいさつ

重点課題1 自己肯定感を高める 生徒指導の充実	重点課題2 不登校解消を目指した チーム力の向上	重点課題3 確かな学力を身につけさせる 授業の充実	重点課題4 思いやりのある豊かな心の 育成と人権教育の充実	重点課題5 主体的で対話的な 深い学びの推進
-------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------	------------------------------

褒めることを重視した教育活動の推進	互いに協力し合える体制作り	基礎学力の定着・向上と授業の工夫改善	体験活動の推進 道徳的実践力の育成 人権同和教育の充実 特別支援教育の充実	複式教育の充実と発展 小中併設校の特色を活かした 授業づくりの充実
<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝鑑賞を活用した「想いを伝える」「想いを聞く」場の設定 ○ 一日の中で一人一人が輝く場を設定（全校百人一首大会の実施） ○ キャリア教育を意識した学校行事運営 ○ 個を理解し、個に合わせた児童生徒理解と連携 ○ 生徒指導部会を活用し、ほめるべきことを共有 ○ 意識調査を計画的に実施（学校楽しいとの活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学部会・中学部会・生徒指導部会（GL）の充実 ○ 子供にも教師にも個性があることを十分理解する研修の実施 ○ カウンセリングマインドを活かした全校態勢による生徒指導 ○ 保護者や関係団体との連携及び協力 ○ 人材バンクの作成 ○ 学級・学年PTAの工夫 ○ 小学校授業に中学教員乗り入れる授業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ○ AARサイクルを基軸とした学習過程の充実（振り返りの充実） ○ 学習者主体を目指した個別最適な学び・協働的な学びの推進 ○ AIドリルを活用した家庭学習と個別最適な学びの充実（個別指導スペースの確保） ○ 授業力向上を目指した校内研修の実施と校外研修への参加 ○ 小中連携を生かした協力体制の強化 ○ 児童生徒主体による自主学習を活用した家庭学習の充実 ○ 親子読書の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「桜さきばら地域塾」を活用した体験活動の充実と実施 ○ 「心の教育の日」全校道徳授業参観の実施 ○ 多角的、多面的な考えを引き出す道徳授業の推進 ○ 人権同和教育の視点に立った取組の推進と授業の計画的な実施 ○ 特別支援教育の観点に立った児童生徒理解と授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中併設校の特色を活かした研究授業の実施 ○ いつでも小学校・中学校間で意見交換・情報共有ができる環境づくりの充実 ○ 小中学校9年間を貫く系統性の研究 ○ 複式授業から主体的学びを追求する研修の実施 ○ ICTやリモート授業を活用した学びの保障 ○ 小学校・中学校の相互授業参観の実施 ○ 企画から児童生徒が考える総合的な学習の時間・行事の運営

地域に根ざしたふるさと体験学習（桜さきばら地域塾との連携）

○ 地域と共に入学式	○ 校内弁論大会	○ タナガ採り	○ 運動会への参加	○ 学習発表会
○ ふるさと体験学習	○ 水泳発表会	○ 釣り大会	○ 敬老会への参加	○ 炭づくり
○ 自然観察学習	○ 農業体験	○ 職場体験学習	○ はあごろ太鼓	○ 郷土料理作り
○ 島唄コンサート	○ デーキャンプ	○ 八月踊り	○ サシバ講演会	○ 卒業式 など

オープン化

- 経営方針・学校だより・週報・ブログによる計画と実践の日常的な交流
- 子ども・保護者・教職員相互の相談体制の充実

システム化

- 校務分掌等を機能させた問題解決型の学校・学級経営
- スズキ校務を活用した事務整理と生徒指導上の記録・活用

ネットワーク化

- 校内ネットワークシステムの構築とペーパーレス化の推進
- 校内委員会を中核とした崎原っくプランの作成と教育支援ネットワークの構築

すべては子どもたちのために 教師がゆとりをもって 教師同士・保護者・地域が力を合わせて